

# 2017 年スタディツアー

## ■日程・内容

11 日 月

10 時 バンコク、スワンナプーム空港集合、シャトルバスでスワンナプーム空港からドンムアン空港に移動

13 時 ドンムアン空港集合、チェックイン

14:30 ドンムアン空港より飛行機でメソット空港へ移動

15:10 メソット空港着

夕方 タイ・ミャンマー国境付近散策

ホテル着

ツアー全体のオリエンテーション

12 日 火

午前 メータオ・クリニック訪問現在診療を行っている病院

午後 シンシア医師との座談会

ワークショップ JAM 代表小林潤

ミャンマー移民画家、マウンマウンティン氏訪問

13 日 水

午前 旧メータオ・クリニック訪問 2015 年まで使用していた病院

午後 移民学校訪問メータオ・クリニックや JAM が支援している学校

ごみ山見学、ごみ山近くの移民学校訪問

14 日 木

終日自由行動

オプション 午前メソット病院(タイ公立総合病院)見学、午後ミャンマー料理教室、その他マーケットの散策、寺院のサウナ等への案内、国境を越えてミャンマーへ行くことも可能です。

15 日 金

ミャンマー人難民キャンプ訪問

※未成年の方はキャンプの規定により訪問できません。未成年の方は他の見学(タイのヘルスセンター、メータオ・クリニックの病棟内や看護トレーニング等)

16 日 土

午前中 全体の振り返り

昼食

14:30 発 メソット空港発

15:30 着 バンコク、ドンムアン空港着、シャトルバスでスワンナプーム空港へ移動

19 時頃 スワンナプーム空港にて解散

## 2017年スタディツアーに参加して 【東京事務局 神成】

2017年9月11日～16日までタイ、メソトにあるメータオ・クリニックをはじめ、移民 学校、ならびに他のミャンマーからの難民の方が利用している施設へ見学に行ってきました。今年の参加者は9名、学生から社会人を含め、全員が医療関係に関わりのある方々でした。雨季とは思えないくらい、毎日良いお天気に恵まれ、日に焼ける、熱中症になりそうだと、言いながら 皆で楽しくも学びの多い1週間を過ごしてきましたのでご報告致します。到着した1日目はまず、ミャンマーとタイの国境のモエイ川へ向かいました。川の周辺には軍人の方もいましたし、怪しい商品売っているお店、どこの国でもないノーマンズランドを目の当たりにし、早速、国境である事を実感しました。その日の夕飯は眺めの良いレストランでご飯でした。ここのお魚のフライがとてもおいしかったです。

2日目は早速メータオ・クリニックへ。午前中は院内に見学をして回りました。すれ違うどの 患者さんも家族も穏やかでしたし、子供が無邪気にしている様子がとても印象的でした。この日の午後に寄った旧メータオ・クリニックの建物とは明らかに違いました。明るく開放感もありました。ただし、医療関係者の参加者が多い事もありますが、衛生面ではもう少し改善が必要な 個所もあるかもしれない、という意見が多くでました。午後にはシンシア先生との座談会もありました。私たちのどんな質問にも気さくに答えてくださって、とても穏やかにお話される姿が印象的でした。今現在のメータオ・クリニックでの問題、医療者の育成について、教育制度の事も含めながらお話してくださいました。また、当会代表の小林潤先生による国際保健ワークショップや難民の中で教育支援の活動をしているシャンティ国際ボランティア会(SVA)の菊池さんからお話を伺い、この国境周辺地域やキャンプの状況についての理解が深まりました。

3日目は午前中に移民学校に向かいました。山の中にある、JAM が支援をしていた HOPE 校という学校です。たくさんの子供達が勉強しておりびっくりしたのが正直な印象でした。どの子 も大きな声で一生懸命先生の質問に答えたり、復唱をしていました。資源も限られた中での学校 運営ですが、子供達とシャボン玉や折り紙と一緒に遊んでいるなかで、勉強だけではない、集団生活をする上での大切な事も、学んでいるなど感じました。その後はゴミ山見学へ。ここで、生活している人達の環境をみると、足の裏を怪我したり、ゴミの中のものを食べたりして体調を崩し、メータオ・クリニックに来る人も、とお話を伺いました。夕食は難民画家のマウンマウンティンさんのお宅へ訪問してごちそうになりました。彼のお話は参加者全員にとってショッキングな話でした。その彼が描いている絵がポストカード になっていました。私達の心を特に惹いたのは、彼の絵も素敵ですが、絵と共にあるコメントで した。絵だけでは想像もつかない、彼の経験からつけられたその絵とコメントにすっかりファン になった参加者さんもいました。

4日目は自由行動の日でした。午前中、数人はタイ公立病院のメソト病院へのお見学に行きました。メータオ・クリニックでは限られた検査や治療しかできません。専門的な検査や治療はこのメソト病院へ搬送される事になります。転送患者を受け入れる病院として、難民の人に関わる問題、特に金銭的な事や、DV に関わる事をお話してくださいました。他の問題としては、感染症管理に特に力をいれていると話していました。午後は希望者と一緒にミャンマー側のミャワディという街へ行ってきました。タイとミャンマーを隔てているモエイ川にかかる国境の橋を歩いて 渡ることができます。すぐ先に見える川の対岸に渡っただけなのに、言葉はもちろん、町の雰囲気 気も違ってに驚きました。特にお寺の仏像のお顔がタイとはまた違ってとても印象的でした。お昼をミャンマーで食べましたが、カレーは辛かった！みんなで暑い中更に汗をかいて食べていました。

5日目はメラ難民キャンプへ行ってきました。ここではキャンプ内の学校、病院、図書館の見学をし、実際に難民の方へのお宅へお邪魔してお話を伺ってきました。ゆくゆくは難民キャンプは閉鎖になってしまい、支援もどんどん少なくなっており、ここに住んでいる人たち、特に若い人達は将来の不安がかなり強い、という印象を受けました。

最後の日は皆で振り返りをしてバンコクへ戻り、無事に全員帰国しました。あっという間に過ぎてしまった1週間でしたが、現地の方と直接お話をして色々な事を聞いて体験し、とても学びの多いとても貴重な機会となりました。ツアーが終わったあとも、参加者さん達と色々な形で繋がり、素敵なお縁にも恵まれた機会となりました。